

香港城市大学

実習生	川乱麻里、下馬場篤典、陳瑜（見学）
実習場所	香港城市大学
実習期間	2010年2月21日～2010年3月20日
実習内容	授業見学：50分×20 実習：50分×8 交流会：120分×2
費用	航空費：90000円（国際交流基金負担） ホームステイ費：30000円（国際交流基金負担） 生活費等：50000円

○実習

第1週目は毎日授業見学及び授業参加をしました。香港城市大学は文法の授業、会話の授業、ビジネス日本語の授業など細かく分けて学習させています。だからそれぞれの授業を見学しました。またそれぞれ担当の先生もことなっているため、同じ会話の授業でも数人の先生の授業を見学しました。主に使用されている教科書は『みんなの日本語』でした。

第2週目から実習が始まりました。実習準備は大変でしたが、学生も積極的に非常に楽しくできました。ただし実習のクラス、担当の先生がばらばらだったためやりにくい部分も多かったです。

第2週目の金曜日と第3週目の金曜日には交流会がありました。第2週目は分校で行われ、第3週目は本校で行われました。





○ホームステイ

ホームステイ先は大学から電車で 1 時間以上かかるところにあり往復は大変でしたが、ホームステイ先の家族の皆さんには良くしていただきました。

○JIP に参加して

現役の日本語教師の先生方と直接お話し、現実の厳しさを感じました。その半面、日本語教師のやりがいも感じました。だから日本語教師になりたいという気持ちがより一層強くなりました。教える場所や環境さえ良ければきっと素晴らしい仕事だと思います。

○謝辞

この度の実習でお世話になった香港城市大学の先生方、事務員の方、ホームステイ先の家族、姫路獨協大学の先生方良い経験をさせていただき本当にありがとうございました。